

千葉県議会議員

小宮清子のさわやかメール

小宮清子県議会報告版

事務所 流山市平和台2-4-3 広葉ビル201 TEL・FAX04-7159-3781
E-mail hikomiya538@coral.plala.or.jp URL komiyakiyoko.blog46.fc2.com

No.59



県民生活の不安増す

2013年度一般会計1兆4767億5800万円の使い方

貧しすぎる、高齢者の介護施策・児童福祉施策・再生可能エネルギー推進政策・医療従事者（医師・看護師）の確保等

知事選を前にして決まった2013年度予算は「骨格予算」とはいうものの、対前年度当初比7・7%減1兆4767億5800万円。歳出をみると義務的経費として人件費（前年度比152億円減）、社会保障費（前年度比38億円増）、公債費（県の借金返済対前年度比62億円増）があり1兆1396億にのぼります。残り3371億が様々な事業費に当てられました。予算は成立しましたが会派としては予算案に反対をしました。

- ・県民の命や生活を守るために必要な予算計上がされているか
- ・事業選択の優先順位は妥当か
- ・少子高齢化や人口減少社会が直面する政策課題に積極的に取り組んでいるか

などの視点から厳しく審査してきました。（写真・2月議会閉会日討論に立つ）

●不安強まる医療と高齢者介護

埼玉県について全国2番目のスピードで高齢化が進む千葉県。医療と介護は切実な施策課題です。

千葉県の2010年における高齢化率（人口に占める65歳以上の人の数）は21・5%でしたが、2015年には26・2%、2025年には30・3%と推計されています。人口10万人当たりの医師数と看護師数はいずれも全国45位（2010年度）と最低レベルです。

在宅医療資源をみると人口10万に対して全国を100とした場合、在宅療養支援診療所数は41・5で47位、訪問看護ステーション数69・9で45位と全国でも最低レベルです。医療従事者の人材確保、在宅医療資源の充実が高齢者の命・健康に直結する課題です。また特別養護老人ホームの施設整備は1床当たり補助単位を400万円から300万円に切り下げ、わずか800床の整備数です。特養への入所希望者は18700人いる中で、在宅、一人暮らし、要介護5の方が県内に405人（2012年7月）いるのです。

県民要望の高い介護・医療に対し積極的に取り組む県の姿勢がなく、不安が強まるばかりです。

●子どもたちにしっかりと光を

児童福祉施設の整備をこの間要求し続けてきていますが、ここにも県の冷たい対応

が続いています。児童福祉施設数（2010年人口10万人当たり）をみると千葉県は全国46位と最低レベルです。

児童虐待の件数も2960件と過去最多ですが、児童相談所の一時保護所も児童養護施設も満員状態です。児童養護施設整備促進事業として2億1300万円の予算ですが、前年度の半分に減らされ、今ある施設の環境整備の予算はゼロです。社会的養護の必要な子どもたちにこそしっかりと予算をつけるべきです。

●エネルギー政策のビジョンなし

自治体独自にエネルギー計画を作り、再生可能エネルギーの促進・エネルギーの分散を、今、多くの自治体が取組み、具体化にむけて動いています。

再生可能エネルギー推進のための予算（太陽光発電設備導入補助事業）は3億円。これではあまりにも不足すぎます。県の国への追いつき姿勢は特に原発に対して明確です。子ども達の健康、低線量内部被ばくへの心配の声に対しては全くの対応がないまま今日までできています。国任せでは間に合いません。